

市民病院だより



編集・発行／病院経営管理部総務課 TEL 0229-23-3311（内線 3503）

〒 989-6183 大崎市古川穂波三丁目 8 番 1 号

Web <http://www.h-osaki.jp>E-Mail soumu-och@h-osaki.jp

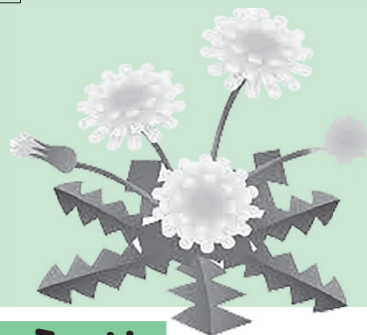
ご意見・ご感想は上記までお待ちしております。

大崎市民病院理念・基本方針

【病院理念】

～市民が安心できる医療の提供～

【基本方針】

市民に適切な医療の提供
地域に貢献する医療の構築
健全経営の確保

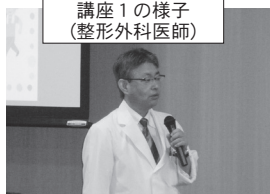
市民公開講座のお知らせ

当院では、地域の皆さまを対象に職員が専門知識を広く公開することで、健康を維持するためのコツや病気との取り組み方のコツを分かりやすくするためになる「市民公開講座」を開催しております。

医師や看護師などの医療職と直接触れ合える機会のため、地域の皆さまが日頃感じている医療に関する疑問を丁寧にご説明いたします。

講座内容や申し込み方法などの詳細については、広報おおさきやホームページなどに掲載しますので、ご覧願います。

2月17日（土）開催報告 テーマ「ひざの痛み」

講座1の様子
(整形外科医師)

第3回市民公開講座を2月17日に開催しました。

今回は「ひざの痛み」をテーマとして、当院医師、薬剤師、理学療法士が実演を交えた講座を行いました。

講座1では「ひざの痛み」と題して、当院整形外科医師からの講演を行いました。「ひざの関節軟骨が薄くなり、隙間がなくなる『変形性ひざ関節症』は歳を取れば誰にでも起こり得ること、ひざ関節に痛みや違和感を覚えたり、小さな変化に気づいたりしたら、まず専門医に診てもらい、納得がいくまで相談すること。一人一人症状や進行具合が違うので、自分に最もふさわしい対応策や治療法を早めに見つけて維持や治療に取り組んでいくことが大事です。」と説明がありました。

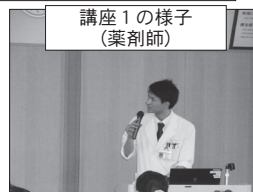
続いて、『くすりのいろは』と題して、薬剤師から内服薬と外用薬の違い、関節痛に良く使われる痛み止め、サプリメントの効果などの説明がありました。「市販薬は手軽に購入できるが、自分に合ったものを使い方や適量を守って正しく使うこと。痛みが続くときは医療機関を受診して適切な治療を受けることが第一です。」とアドバイスがありました。

講座2では『どこでもできる！ひざ痛解消のための3分体操』と題して、理学療法士からストレッチやトレーニング法などが実演されました。「日常生活でのポイントは体重を増やさず減らすこと。適切な装具(サポーターや足底板)を活用することです。」と、参加者全員で実際にストレッチやトレーニング法などの体験をしました。

当日は、定員を上回る参加者にお越しいただき、会場内はとても窮屈に感じられたことと思いますが、活発な質疑応答もあり、盛況のうちに終了しました。

次回は、5月頃に開催予定です。講座内容や申し込み方法などの詳細については、広報おおさきやホームページなどに掲載しますので、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

地域の皆さまにわかりやすく、気軽にご参加いただける講座を目指しています。今後取り上げてほしいテーマなどご意見がありましたら、気軽にご連絡ください。

講座1の様子
(薬剤師)講座2の様子
(リハビリテーション部)

☎ 総務課総務係「市民公開講座」担当
0229-23-3311（内線3503）

平成 29 年度 個人情報取扱いに関する意識調査結果報告

問 総務課コンプライアンス対策室 0229-23-3311 (内線3924)

1 調査目的

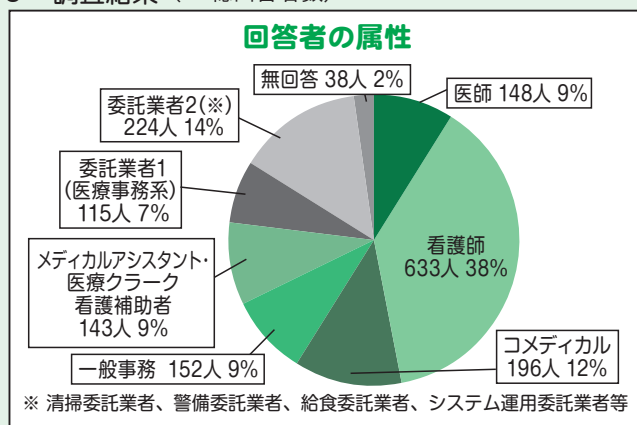
院内の個人情報の取扱いについて、現状の把握及び適正な取扱いのために講じてきた対策を検証し、さらに必要な対応策を実践することにより、コンプライアンス経営の促進を図ることを目的として実施しました。

調査結果がまとまりましたので、結果の概要と今後の課題を報告します。なお、結果の詳細は、大崎市民病院のウェブサイトに掲載していますので、ご覧ください。

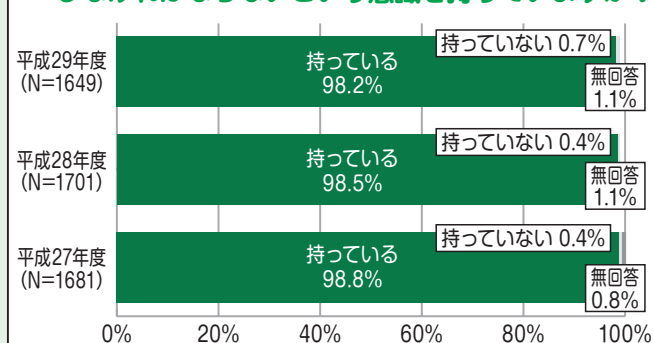
2 実施状況

- (1) 対象者 病院事業で勤務する全職員（委託、契約業者職員含む。病休、産休、育休者を除く。）
- (2) 調査期間 平成29年9月7日から9月20日（14日間）
- (3) 調査実施方法 無記名調査票の提出による
- (4) 有効回答数 1,649名、回答率 98.04%

3 調査結果 (N= 総回答者数)



Q あなたは個人情報について適切な取扱いをしなければならないという意識を持っていますか？



分析・課題

調査の結果、職員一人一人の個人情報の取り扱いに関する意識や、病院職員としての自覚には向上が見られ、これまでの研修や対策に一定の効果があったものと考えます。しかし、職員から報告を受けた上司による、注意喚起などの対応が停滞していることから、管理監督者を中心とした組織マネジメント力を強化していきます。また、本調査そのものに対する不満も出始めていることから、調査項目の内容や実施方法を見直すとともに、結果とその改善策についても、広く職員に周知し、今後も個人情報の取扱いのみならず、コンプライアンス経営を継続的に、そして適確に実践していきます。

今後の対策

(1) 階層別参加型研修の開催

各個人の意識付けは当然ながら、管理・監督者の解決スキルの習得や、中堅職員が中心となった職場環境の改善を図るため、入職時、中堅、管理・監督者などの階層毎に、業務内容や部署内における立場などに合致した研修を開催する。

(2) 公益通報者保護制度の積極的活用

平成28年度に設置したコンプライアンス対策室も二年目となる今年度は、相談対応件数も増え、その役割を果たしていると評価できる一方、実態が見えないとの意見もあることから、窓口の制度や運用実績について、院内広報などを用い広く職員へ発信する。

(3) アクセス履歴抽出の実施と報告

これまで同様に、毎月無作為にアクセス履歴の抽出を実施するが、実際に行っているのかとの意見もあることから、抽出の結果について院内広報により、職員へ報告し、注意喚起する。

(4) 人事評価制度の活用

評価制度が全ての職種に該当しないため、現在は一部職種を除いて実施している。今後は職種ごとの評価制度の導入に努める。また、個人情報の適正な管理を評価に含めるなど検討を行う。

(5) 倫理研修会の開催

病院の定める医療倫理に準じた行動をするよう意識付けをするとともに、高い倫理観を身につけ、病院事業職員としての自覚の醸成を促す。

(6) 情報セキュリティ研修の開催

e-ラーニング(インターネットを利用した学習)を用い、情報セキュリティについての反復学習を行い、意識の改善と定着を図る。

平成 29 年度 患者満足度調査結果報告

1 調査目的

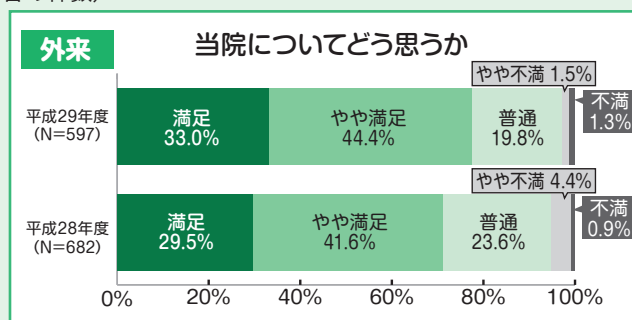
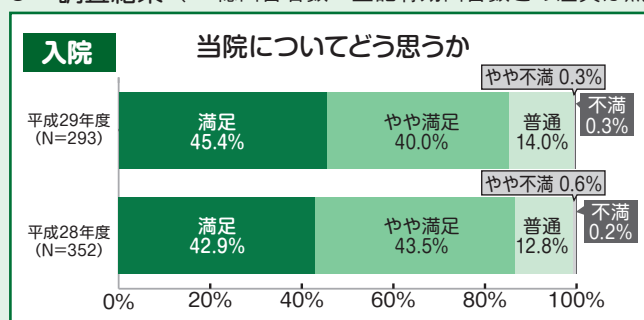
当院では、入院および外来の患者さんとそのご家族からご意見をいただいてそれを分析し、患者サービスの改善や質の向上を図ることで、当院の理念である「市民が安心できる医療の提供」を実践するため、より一層の期待に応えられる病院づくりに役立てていきたいと考えています。

ご協力いただきました皆さまにお礼を申し上げるとともに、その集計結果の一部を抜粋して報告します。

2 実施状況

- (1) 対象者 入院：入院患者さんとそのご家族
外来：外来患者さんとそのご家族
- (2) 調査期間 入院：平成29年1月28日から12月25日（28日間）
外来：平成29年12月12日（1日間）
- (3) 調査実施方法 無記名調査票の提出による
- (4) 有効回答数 入院：395名、回答率 25.9%
外来：816名、回答率 69.7%

3 調査結果 (N= 総回答者数・上記有効回答数との差異は無回答の件数)



分析と対策

病院全体の評価として入院では約 85.4%、外来では約 77.4%の方々から「満足」「やや満足」の評価をいただきました。また、自由意見では良い意見、悪い意見ともにたくさんのご意見をいただきました。特にご意見、ご要望が多かったのは入院では「食事について」、外来では「診察までの待ち時間」および「駐車場に関すること」でした。「食事について」は、個々の嗜好(しこう)に配慮し、少しでもご満足いただけますよう努力してまいります。

皆さまにいただいた貴重なご意見を参考に、引き続き病院サービス向上に一層努めてまいります。

記述に対する回答ほか

○ご指摘いただいた意見

「診察待ち時間が長すぎる」、「駐車場の区画や駐車スペースが狭い。混んでいて停められない」、「態度や対応、言葉遣いが悪く非常に不愉快だった」、「4 人部屋での電話やテレビなどの使用マナー改善、個人情報の配慮」、「話しをするときは敬語を使ってほしい」など

<回答>

ご迷惑をおかけして大変申し訳ありません。診察までの待ち時間については、今年度から診療待ち時間及び院内滞在時間の短縮に向け、診療科と予約や検査時間などの調整を図っております。また、駐車場については、駐車区画の引き直しを行い、今年度は9 台の駐車スペースを確保したり、車両誘導員を増員して効率的な誘導の実施、パレットおおさきの駐車場の臨時借用など、毎年新たな取り組みを実践してはおりますが、確実な改善は図られておらず、ご迷惑をおかけしております。なお、患者対応に関しては、院内で全職員を対象とした接遇研修会を実施するなどの取り組みを行っていますが、今後さらに接遇のあり方について、関係部署と話し合い、利用者本位に立った対応を心掛けていきます。また、入院病室でのマナーについては、患者が入院前の説明はもちろん、入院当日の説明時や入院中にも改めてご協力いただくようお話させていただき改善を図ってまいりますので、ご理解願います。

○好意的な意見

「医師や看護師の心優しい気遣いと丁寧な対応と言葉に本当に救われた」、「適切な治療と看護をしていただいた」、「夜間にも関わらず、検査などの対応をしてくださり感謝している」「設備などに清潔感があり、とても良かった」

<回答>

お褒めのお言葉ありがとうございます。これからも、患者さんが安心して医療を受けられるよう、心のこもった質の高い医療を提供するため努力してまいります。

平成30年度 病院事業会計予算概要

④ 経営企画課財政係 0229-23-3311 (内線3706)

予算概要

平成30年度は国の社会保障費抑制の方針により、診療報酬のマイナス改定が実施され、病院事業を取り巻く環境は非常に厳しくなることが予想されます。このような状況の中で、病院理念である「市民が安心できる医療の提供」を念頭に、本院、分院及び診療所の各施設が、地域における役割を十二分に果たし、安定した医療を提供するため、平成29年3月に大崎市が策定した「新大崎市民病院改革プラン」を推進する予算編成を行いました。

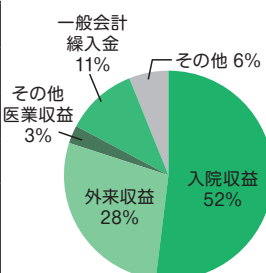
収益的収支予算総額では、病院事業収益は232億894万円、病院事業費用は231億90万円とし、1億804万円の黒字予算となりました。新改革プランに基づく鳴子温泉分院と鹿島台分院の病床適正化を平成30年10月から実施するものとし、年間業務量を見込みました。また、鳴子温泉分院の平成33年度新築建替に係る基本計画策定及び基本設計を実施いたします。

資本的収支予算総額では、収入総額を15億6,423万円、支出総額を24億4,883万円とし、岩出山分院のリハビリテーション施設増築工事の実施や、本院のPET-CT(陽電子放射断層撮影装置)、健康管理センターのMRI(磁気共鳴画像撮影装置)などの医療機器の整備をいたします。

依然として厳しい財政状況ではありますが、引き続き、本院、分院及び診療所の機能維持を図りながら、地域の実情を的確に把握するとともに、市民が安心できる地域医療の向上に貢献してまいります。

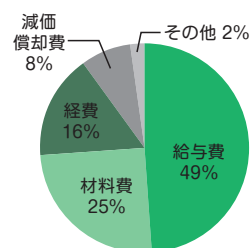
収益的収入

項目	金額
入院収益	119億8877万円
外来収益	65億94万円
その他医業収益	8億2292万円
一般会計繰入金	25億894万円
その他	13億8737万円
計	232億894万円



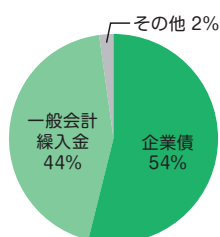
収益的支出

項目	金額
給与費	112億5864万円
材料費	57億6160万円
経費	36億4194万円
減価償却費	18億5943万円
その他	5億7929万円
計	231億90万円



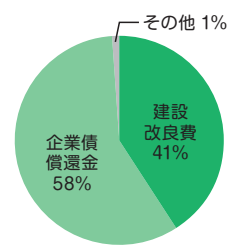
資本的収入

項目	金額
企業債	8億5050万円
一般会計繰入金	6億8609万円
その他	2764万円
計	15億6423万円



資本的支出

項目	金額
建設改良費	9億9658万円
企業債償還金	14億2425万円
その他	2800万円
計	24億4883万円



用語解説

【収益的収支】

医療サービスの提供やこれに付随する事業など、病院の1年間の経営活動によって生じた収益を「収益的収入」、また、これらの収益を生むために要した費用を「収益的支出」といいます。「収益的収支」とはその差引額のこと、1年間の病院の経営成績を表します。(収入が支出を上回れば「黒字」、下回れば「赤字」です。)

【資本的収支】

医療機器の購入や施設整備に要する支出、また、医療機器購入や施設整備のために借入れた企業債の元金返済に要する支出を「資本的支出」、その財源となる企業債や一般会計からの繰入金を「資本的収入」といいます。